

i2 Standard マニュアル

i2 Standard をインストールし、ソフトを開きます。



赤枠の中から使用する **Workspace** を選択します。

各 **Workspace** の特徴は以下の通りです。

Circuit Workspace

- ・ラップベースのデータ選択
- ・ラップエディター
- ・サーキットのコース生成
- ・エンジン分析用のミクスチャーマッププロット
- ・サーキットのレース用に最適化された修正された速度と距離の計算
- ・適合するデフォルトの数学

Drag Workspace

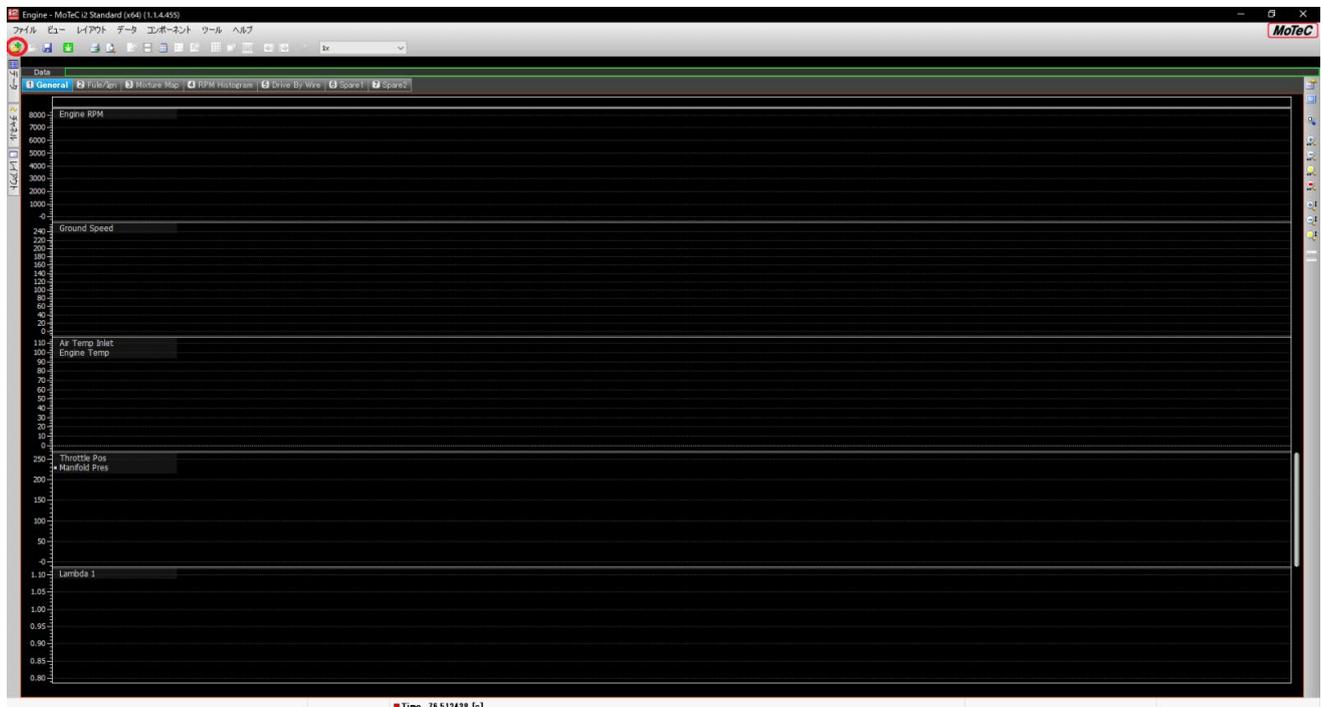
- ・走行ベースのデータ選択
- ・スプリットタイムエディター
- ・エンジン分析用のミクスチャーマッププロット
- ・ドラッグレース用に最適化された修正された速度と距離の計算
- ・クラッチスリップの計算を含む、デフォルトの数学

Engine Workspace

- ・ミクスチャーマッププロット
- ・レース指向の分析コンポーネントの欠如による複雑さの軽減

Rally Workspace

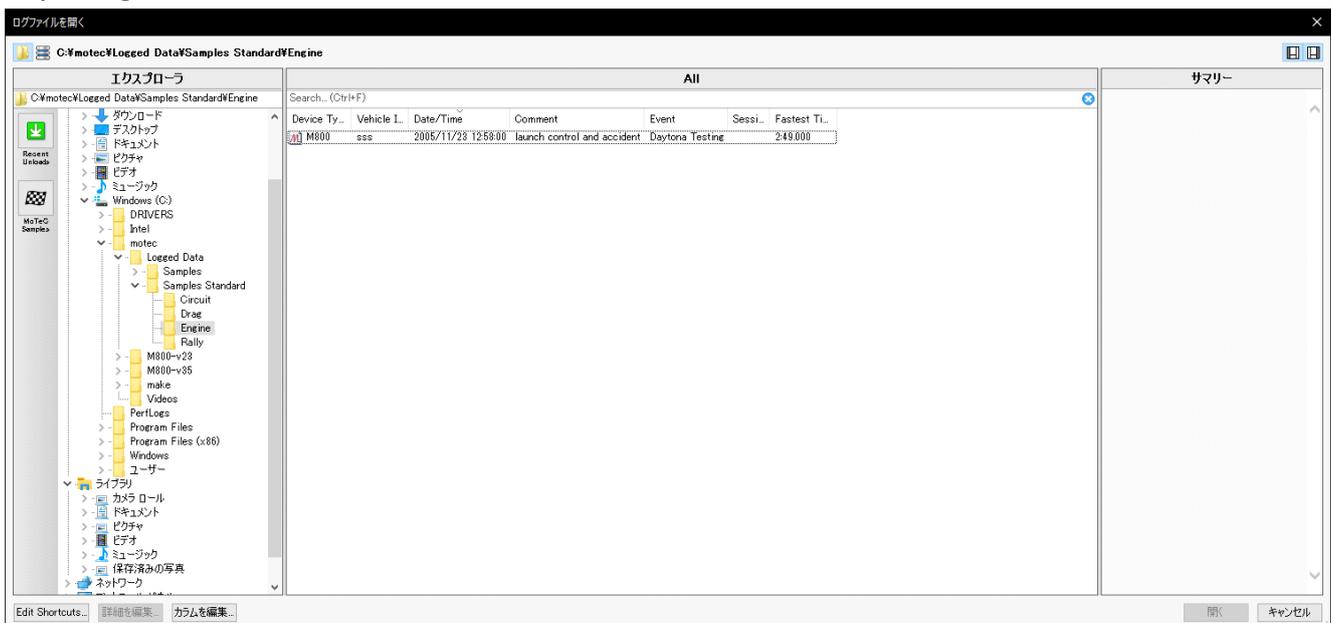
- ステージベースのデータ選択
- ステージエディター
- エンジン分析用のミクスチャーマッププロット
- ラリー用に最適化された修正された速度と距離の計算



エンジンセッティングの場合には **Engine Workspace** を推奨します。

Workspace を選択したら、ログファイルを開きます。

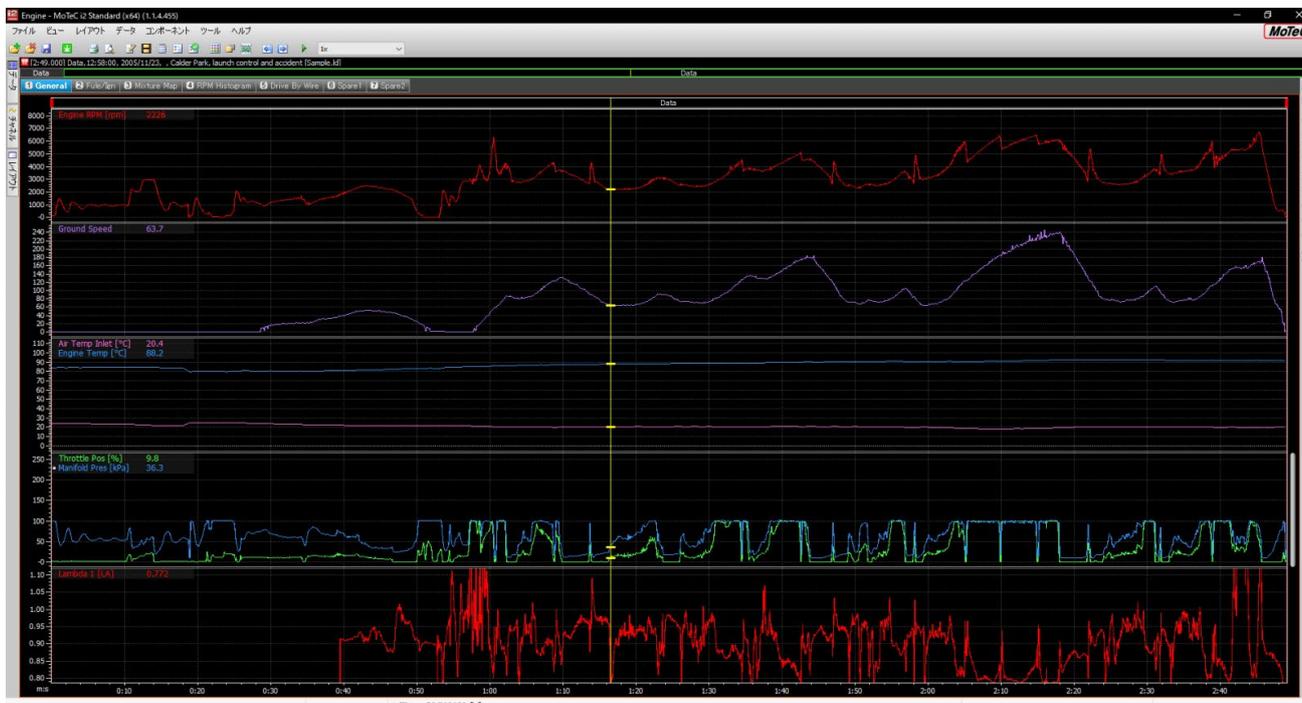
File>Open Log File... を選択、もしくは上図の赤○をクリックします。



左側からログデータが保存されているフォルダを選択します。

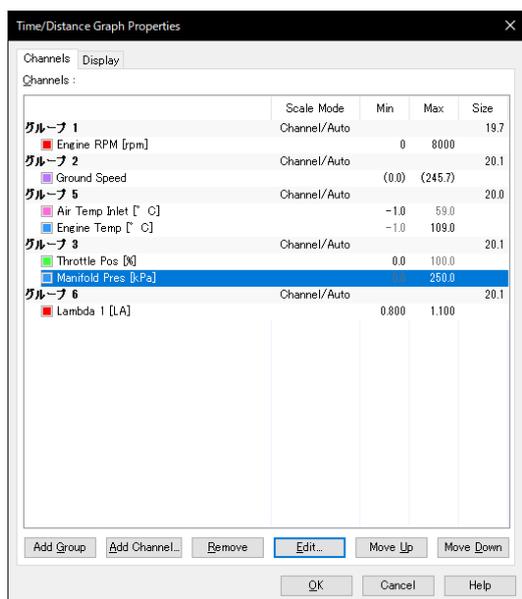
右側にフォルダ内に保存されているログファイルが表示されます。

開くファイルを選択し、右下の開くをクリックします。



表示するチャンネルを変更する場合

右クリックをし、**Properties...**（プロパティ）を選択します。



Add Group : 表示するグループを増やします。

Add Channel : 表示するチャンネルを増やします。（上限 20 チャンネル）

Remove : 選択しているチャンネルもしくはグループを削除します。

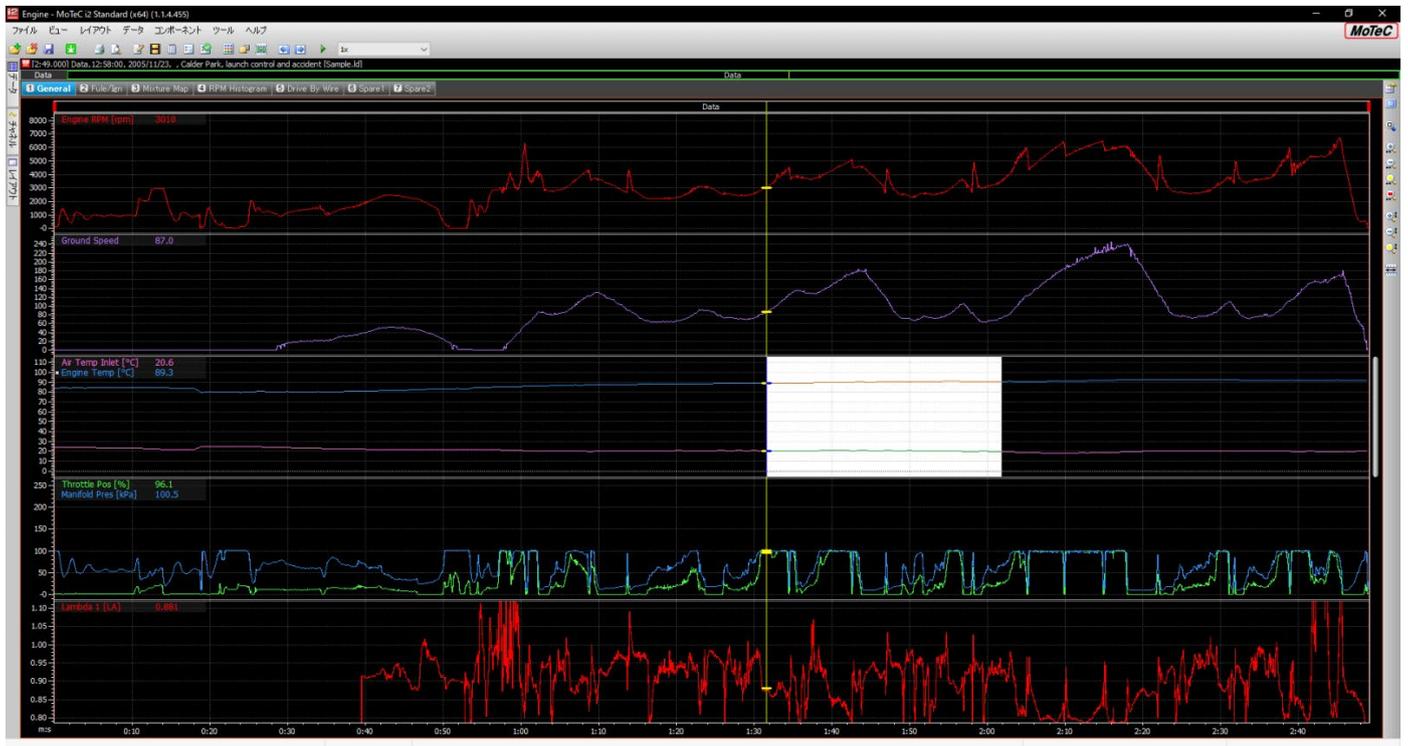
Edit : 選択しているチャンネルもしくはグループの表示範囲、色、単位などを変更します。

Move Up : 選択しているチャンネルもしくはグループの表示位置を1つ上げます。

Move Down : 選択しているチャンネルもしくはグループの表示位置を1つ下げます。

※M84 のログを閲覧する際の注意

インストールした素の状態は、M800 系 ECU やディスプレイロガーに対応したログ閲覧設定になっています。このため M84 のログを閲覧する場合、Engine RPM の項目が表示されません。これはエンジン回転の設定が M800 と M84 で異なるのが理由です。チャンネル設定で「Engine RPM」を削除し、「RPM」という項目を追加してください。



■表示範囲を拡大する方法

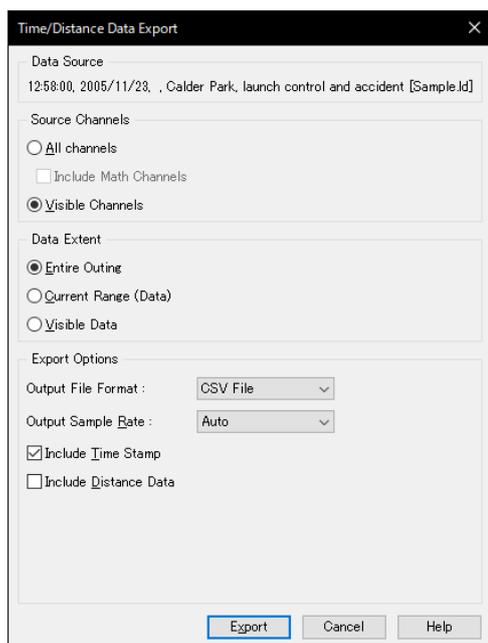
- ・拡大したいところでクリックをしキーボードの上ボタンを押すとそこを中心にボタンを押すごとに拡大します。下ボタンを押すと縮小します。
- ・拡大したい範囲の始点でダブルクリックしカーソルを動かすと上図のように範囲の色が変わり、終点でもう一度クリックするとその範囲が拡大されます。

■キーボードショートカットキー

- F1 : ヘルプ
- F2 : 拡大しているときに全画面に戻す
- F5 : コンポーネントプロパティ
- E : ステータス・エラー
- V : 全チャンネルの値を表示
- M : 表示している範囲の各チャンネルごとの最大値・最小値・平均値を表示
- L : チャンネル名の表示切替
- S : トレーススタイルの表示切替 (実際にロギングを取得した部分を表示)
- G : グループ表示 ON OFF
- Shift+左ボタン/右ボタン : 拡大表示しているときに左右に範囲を移動させる

■ ログデータを CSV ファイル形式で出力する方法

i2 画面上部の Component>Export Data...を選択します。



Source Channels

- **All channels:**すべてのチャンネルを出力します。
- **Visible Channel:**現在表示しているチャンネルのみ出力します。

Data Extent

- **Entire Outing :** 表示しているログファイル全体を出力します。
- **Current Range :** ログデータ内で区切られている（ラップなど）データを選択している部分のみ出力します。
- **Visible Data :** 拡大表示などで範囲を指定して画面に表示している部分のみ出力します。

Export Options

- **Output File Format :** Motec Log File i2 で見れるファイル形式で出力します。

CSV File エクセルなどのスプレッドシートプログラムなどで表示できる形式で

出力します。

- **Include Time Stamp :** CSV 出力した際に時間軸を追加します。
- **Inculude Distance Data :** CSV 出力した際に距離軸を追加します。